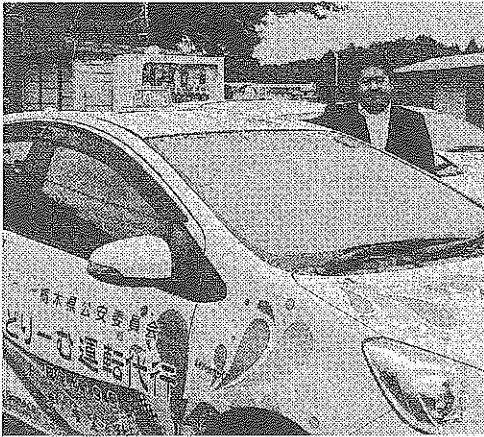


全車両をラッピング車にしたいと  
意気込む阿部社長



どリーむ運転代行  
(宇都宮市)

運転代行／フロント

マ、ロ、ク、メ

⑩

ラッピング車で街を明るく

イメージアップ女性客つかむ

どリーむ運転代行(宇都宮市)の阿部泰之社長は「車で街を明るくしたい」と、随伴用自動車にカラフルな装飾を施したラッピング車両を昨年10月に導入。女性客の心をつかみ、業界のイメージアップに取り組む。随伴車11台を保有し、うちラッピング3台。従業員約30人。

「タクシーなど他の旅客運送関係の車両に比べ、怖い印象を持たれていると感じ、女性デザインナーに図柄を依頼した。白の車体には7色のレインボーカラーを使い、華やかに。統括責任者の大塚美智雄氏は「飲食店の前で待機していると、通行人の女性に興味を示して話しかけてく

る。安心感を与えているようだ」と効果を確信する。代替え時に順次ラッピング車にする計画。阿部社長は「宇都宮のマスコミ『ミヤリー』を入れたり、新たなデザインにしてみたり」とアイデアは尽きない。

従業員の技術指導には広大な駐車スペースを活用する。月1回のミーティングでは車庫入れのシミュレーションや接客ロールプレイングも。トラブルがあった従業員は「改善策シート」を記入し、仲間と意見交換しながら改めている。

9割近くの従業員が、顧客車の運転に必要な二種免許を持っている。「互いに切磋琢磨し、頑張っている」と厚い信頼を寄せる阿部社長。「従業員が誇れる、稼げる運転代行にするため、ブランド力を高め、料金の反映させたい」と目を輝かせる。